|  |
| --- |
| 開隆堂 |

|  |
| --- |
| 小学校外国語活動・外国語　移行措置資料 |
| 年間指導計画（例） |
| 平成30年度～31年度用 |
| 目　次  本冊子の使い方 ……………………… 2  ●小学校外国語活動  第3学年 ………………………… 3  第4学年 ………………………… 6  ●小学校外国語  第5学年 ………………………… 9  第6学年 …………………………12 |

本冊子の使い方

小学校学習指導要領が改訂され，新学習指導要領が2020年度から完全実施されることになりました。それまでの平成30（2018）年度と平成31（2019）年度の2年間の移行期間には，文部科学省から，中学年の「外国語活動」では年間最低15単位時間（1単位時間45分）を，高学年の「外国語」では年間最低50単位時間を指導することとされています。また，この2年間に限り，「総合的な学習の時間」の15時間分を活用してもよいこととされています。

そこで本冊子では，時間確保の困難さに加え，どのように授業を組み立てるのかお悩みの先生方のご支援として，中学年での15時間分の年間指導計画，及び高学年での50時間の内，“Hi, friends!”を現行学習指導要領に則り35時間指導した後の15時間分の年間指導計画の例を提示させていただきました。

年間指導計画例は以下のように組まれています。

(1) Unitナンバーの下に，扱う時間数が書かれています。

(2) 単元名は，すべて“Let’s Try!”“We Can!”と同じです。

(3) 単元目標では，【　】で示された目標は，時間に余裕のある場合に扱います。

(4) 主な活動例は，上記のテキスト内の活動を基にしています。

(5) 表現例及び新出語彙・語句例，既出表現・語彙例は，テキストに準じています。

(6) 評価のポイントは，現行の3つの観点「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語への慣れ親しみ」「言語や文化に関する気付き」を踏襲していますが，使用されるテキストが新学習指導要領に則って作成されているために，新しい3つの観点（（　）は本冊子での表記のし方），「知識・技能（知識・技能）」「思考力・判断力・表現力等（思考・判断・表現）」「主体的に学びに向かう態度（態度）」で示しています。

以上を参考に，各学校で子どもたちの実態に合わせて，柔軟に年間指導計画を作成いただき，多くの

英語の好きな子どもたちを育てていただければ幸いです。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2018年（移行期間１年目） | 2019年（移行期間２年目） | 2020年（小学校完全実施） | 2021年（中学校完全実施） |
| 中学年：最低15時間実施  高学年：最低50時間実施 | 中学年：最低15時間実施  高学年：最低50時間実施 | 小学校検定教科書使用開始。中学校は現行教科書での指導最終年。 | 中学校新検定教科書使用開始。 |
| 3年：Let’s Try 1 | 4年：Let’s Try 2 | 5年：新検定教科書（5年） | 6年新検定教科書（6年） |
| 4年：Let’s Try 2 | 5年：Hi, friends!1とWe Can!1の2冊併用 | 6年：新検定教科書（6年） | 中1：新検定教科書（中1） |
| 5年：Hi, friends!１とWe Can!１の２冊併用 | 6年：Hi, friends!2とWe Can!2の2冊併用 | 中1：現行教科書使用（中1）（ゼロベースから指導） | 中2：新検定教科書（中2） |
| 6年：Hi, friends!2とWe Can!2の2冊併用 | 中1：現行教科書使用（中1）  （ゼロベースから指導） | 中2：現行教科書使用（中2） | 中3：新検定教科書（中3） |

※本冊子の内容は，平成30年1月末現在の情報によっています。